



2012 年 6 月 28 日

各 位

会 社 名 日 立 建 機 株 式 会 社
代 表 者 名 執 行 役 社 長 辻 本 雄 一
(コード番号:6305 東証・大証 第一部)
問 い 合 せ 先 広 報 戦 略 室 長 平 野 耕 太 郎
(TEL 03-3830-8065)

支配株主等に関する事項について

当社の親会社である株式会社日立製作所について、支配株主等に関する事項は、以下のとおりとなりますので、お知らせいたします。

1. 親会社、支配株主(親会社を除く。)又はその他の関係会社の商号等

(2012 年 3 月 31 日現在)

名 称	属 性	議決権所有割合(%)			発行する株券が上場されている 金融商品取引所等
		直接 所有分	合算 対象分	計	
株式会社日立製作所	親会社	51.04	0.63	51.67	東京証券取引所 市場第一部 大阪証券取引所 市場第一部 名古屋証券取引所 市場第一部 福岡証券取引所、札幌証券取引所 ニューヨーク証券取引所(米国)

(注) ニューヨーク証券取引所については、2012 年 4 月 27 日付で、福岡証券取引所及び札幌証券取引所については 2012 年 5 月 18 日付をもって上場を上場廃止しています。

2. 親会社等の企業グループにおける上場会社の位置付けその他の上場会社と親会社等との関係

(1) 親会社の企業グループにおける上場会社の位置付け、親会社やそのグループ企業との取引関係や人的・資本的关系

当社は、日立グループの中で建設機械部門に属し、建設機械事業を担う唯一の企業であり、事業運営の独立性を保ちつつ、親会社である株式会社日立製作所(以下、「日立製作所」という。)のグループの一員として、基本理念及びブランドを共有しております。

また、当社及び日立製作所との間には、日立グループ・プーリング制度による資金の貸借等の取引関係があり、同社のグループ企業との間には、製品の販売等の取引関係があります。

なお、当社では、取締役会の監督機能強化及び日立グループとの連携を確保するため、2012 年 6 月 25 日現在において取締役 10 名のうち 3 名が日立製作所の役員を兼務しております。

(2) 親会社の企業グループに属することによる事業上の制約、リスク及びメリット、親会社やそのグループ企業との取引関係や人的・資本的关系等の面から受ける経営・事業活動への影響等及び親会社からの一定の独立性の確保に関する考え方及びそのための施策

日立グループに属することにより、当社は、同社及び同社グループ各社が有する研究開発力、ブランド力、その他の経営資源を有効に活用することができ、当社及び当社グループの企業価値の一層の向上に寄与するものであります。

当社の社外取締役 3 名のうち 2 名は、日立製作所の役員を兼務していることから、取締役会における意見の表明を通じて、当社の経営方針の決定等について影響を及ぼし得る状況にあります。しかしながら、日立製作所との兼務役員の人数は、当社の取締役会の過半数を占めるに至っておらず、当社独自の経営判断を行うことができる状況にあると考えております。また、日立製作所及びそのグループ企業との取引条件は、市場価格等を参考に双方協議のうえ、合理的に決定しております。

(役員等の兼任状況)

(2012年6月28日現在)

役職	氏名	親会社又はそのグループ企業での役職	就任理由
取締役	木川 理二郎	株式会社日立製作所 取締役	日立グループとの連携を密にするため。
取締役 (社外取締役)	三好 崇司	株式会社日立製作所 取締役 日立工機株式会社 社外監査役 日立キャピタル株式会社 取締役会長 社外取締役	これまで培ってきた会社経営及び経理・財務分野に関する豊富な経験、知識を活かし、当社の経営全般に助言いただくことで、当社の経営体制が更に強化できると判断したため。
取締役 (社外取締役)	谷垣 勝秀	株式会社日立製作所 代表執行役 執行役専務	これまで培ってきた会社経営及び海外事業等に関する豊富な経験、知識を活かし、当社の経営全般に助言をいただくことで、当社の経営体制が更に強化できると判断したため。

(注)2012年6月25日開催の第48回定時株主総会において上記2名が社外取締役として引き続き就任いたしました。

3. 支配株主等との取引に関する事項

2012年3月期(2011年4月1日から2012年3月31日まで)における日立製作所との取引の状況は以下のとおりであります。

(1)親会社

属性	取引先	取引内容	取引金額(百万円)	期末残高(百万円)
親会社	日立製作所	資金の貸借等	資金の預入 1,000	預け金 8,062
			預入れ利息 10	—
			借入金利息 10	

(注)資金の集中管理を目的とした日立グループ・プーリング制度に加入しており、資金の融通は日々行われているため取引金額は前事業年度末時点との差引き金額を表しております。

取引条件及び取引条件の決定方針等

資金の預入れ・借入れについては、利率は市場金利を勘案して合理的に決定しております。なお、担保は提供しておりません。

(2)同一の親会社を持つ会社等

属性	取引先	取引内容	取引金額(百万円)	期末残高(百万円)
親会社 の子会社	日立キャピタル株式会社	当社の取引先に対する 支払業務の委託	85,791	買掛金 36,684
				未払金 2,853

(注)取引金額については、消費税等を除いて表示しており、期末残高については消費税等を含めて表示しております。

取引条件及び取引条件の決定方針等

日立キャピタル株式会社に対する買掛金については、当社、当社の仕入先、日立キャピタル株式会社の3社間で基本契約を締結し、ファクタリング方式による決済を行っているものであります。

4. 親会社との取引等を行う際における少数株主の保護の方策の履行状況

当社は、日立製作所及び同社グループ各社と取引を行う場合には、一般に公正妥当な市場価格に基づき、双方協議のうえ、合理的に決定しております。

以 上